

科 目 名	社会福祉外書講読					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	古 川 孝 順						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	外国（主にアメリカ）の社会福祉の政策や制度ならびに援助方法（ソーシャルワーク）についての英文資料の読解・翻訳を行う。これにより、英文資料への親しみを醸成し、卒業論文作成等での参考資料の幅を広げることをねらいとする。						
授 業 の 到 達 目 標	①知識・理解 ・外国の社会福祉の政策、制度ならびに援助活動（ソーシャルワーク）について知識を深めることができる。 ②思考・判断 ・外国と日本の社会福祉の政策、制度、援助活動（ソーシャルワーク）の違いについて具体的なイメージを持つことができるようになる。 ③関心・意欲 ・外国の社会福祉の政策、制度、援助活動（ソーシャルワーク）について関心や興味を持つようになる。 ④態度 ・割り当てられた部分について責任を持って翻訳発表を行い、授業の円滑な運営に寄与することができる。 ⑤技能・表現 ・英文資料の内容を理解することができる。						
学 習 方 法	英文資料の翻訳、発表を求め、読解方法の解説を行なう。						
テキスト及び参考書等	適宜、資料を配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等	◎	○				20	
宿題・授業外レポート	○		◎			30	
授業態度							
受講者の発表	○	○		◎		50	
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（授業の進め方について）						
第 2 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 3 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 4 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 5 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 6 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 7 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 8 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 9 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 10 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 11 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 12 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 13 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 14 週	割り当てられた部分の翻訳発表						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						